

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種が連携を図りながら、包括的かつ、個々の子供にあった支援の提供や、支援計画の作成を行っている。	児童発達支援計画会議は、他職種の参加を促して進めている。児童発達支援計画以外にも他職種と情報交換の場を設けている。	定期的に担当者間で情報交換する場を設け、支援の異なる充実を図っていきます。
2	子供たちが活動しやすい十分なスペースが確保されている。	1日3回の清掃を行いながら清潔を保ち、安全に配慮した環境整備に努めている。	活動スペースを活かした遊びを展開すると共に、安全で清潔な環境を保っていきます。
3	親子行事やイベントの機会が多い。	イベントを通して、子供たちの成長を共有出来る機会を多く設けている。	行事やイベント等、登園日ではないクラスの利用者親子にも参加して頂けるよう、臨時登園を設け、一人でも多くに利用者が参加し楽しめる機会の提供に努めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域と交流する機会が少ない。	様々な感染症対策を考慮し、地域にある小学校や保育所等と交流する機会が少ない。	近隣での散歩や、通園のイベントの中で地域施設の子供たちを招き、交流出来る機会を設けていきます。
2	お知らせツールが少ない。	デジタル機器の利用ニーズに対応出来ない。	利用ニーズに合わせて、情報共有ツールについて検討していきます。
3			